

八月も下旬となり、朝夕少しは涼しさが感じられる今日このごろです。

夏の暑さに耐えて咲き続けたサルビア、マリーゴールド、ペゴニア・セブンパローレンスなどは秋運くまで花が楽しめます。

水のやり過ぎなどで弱った株や徒長して大きくなった株は、丁寧に切り戻します。こうした株をそのまま育てたり、病気が発生したり、形の悪い株のまま成長を続け、草姿の乱れたものになります。早めに全体のバランスを考え、切り詰めます。



草花類の切り戻し

また、プランターなどの容器植えのものには、草丈の低い株に合わせて切り戻します。

切り戻し後は、水やりを控えますが乾かしぎみに管理します。九月に入り新芽が伸び出したら、液肥や緩効性肥料の追肥をしてやります。

またこの時期、漬物用の大根や早生種の白菜の種まきができます。

キャベツやブロッコリーの定植期です。消石灰や元肥を一週間前には入れて、地をさらしておきましょう。

(園芸センター)

### 雨雲を追いやり

## 熱気に包まれた新潟まつり

八月七日、市民みこしに火で幕を閉じました。始まった今年の新潟まつりは、雨で開催が危ぶまれたが、今年は十四基の神行事もありましたが、皆さ町に三千八百人が参加。古く切り返した株は、丁寧に切り戻します。こうした株をそのまま育てたり、病気が発生したり、形の悪い株のまま成長を続け、草姿の乱れたものになります。早めに全体のバランスを考え、切り詰めます。



初登場のアルビレック

熱気で湯気まで立ちのぼった市民みこし

まわり行列は、万代太鼓、元気のいい子どもみこし、港五都市のクイーン、音楽隊初登場の「リグス入り」と目撃すアルビレックス新潟とサポーターたちなどが続き、沿道に集まった人たちを驚かせました。

港町ならでは、水上神輿渡御では、大漁旗を飾り立てた二十隻余りの漁船が先導し、消防艇が放水する中、神輿の乗った御座船が信濃川を渡りました。

花火大会は、信濃川のやすらぎ堤をはじめ、八月三十日には西消防署管内で、地震を想定した訓練を実施。九月一日には東

消防署管内で、船舶火災とその二次災害を想定した訓練を行います。

消防の日、大正十二年の九月一日に発生した関東大震災の教訓を忘れないようとして設定されたものです。

## 市ジュニアオーケストラ 第16回 演奏会を開催



日ごろの成果を披露する市ジュニアオーケストラ

市ジュニアオーケストラ 初足。経験者はもちろん、初めて楽器を手にする子どもたちでも基礎から指導し、オーケストラメンバーを育てようという、全国でも極めて珍しい取り組みをしています。

子どもたちの日ごろの成果を披露する演奏会を、ぜひ一度ご鑑賞ください。

定員 五百人(応募多数の場合抽選)

演奏会会場 市市民センター

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

## 9月1日は防災の日

消防訓練などを実施

消防署管内で、船舶火災とその二次災害を想定した訓練を行います。

消防の日、大正十二年の九月一日に発生した関東大震災の教訓を忘れないようとして設定されたものです。

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

思い思いの場所です。四十五万人が、過ぎゆく夏を惜しみながら、祭の最後を飾る夜空の競演を楽しみました。

民謡流しコンテストの入賞者決定

新潟交通(株)からバス運賃の変更申請を行うとの通知があり、市民の意見を聴く会を開催します。

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ

申し込み 同館(☎285-2371)へ